



神戸天然物化学株式会社

**2024年3月期第1四半期
決算補足説明資料**

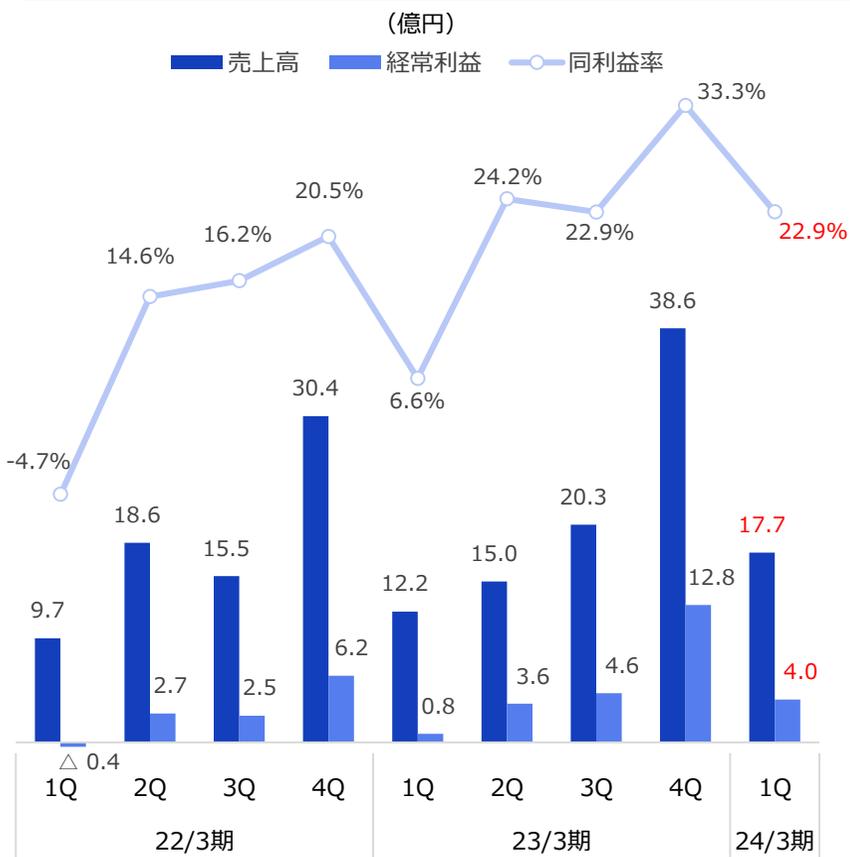
証券コード：6568

2023年08月10日

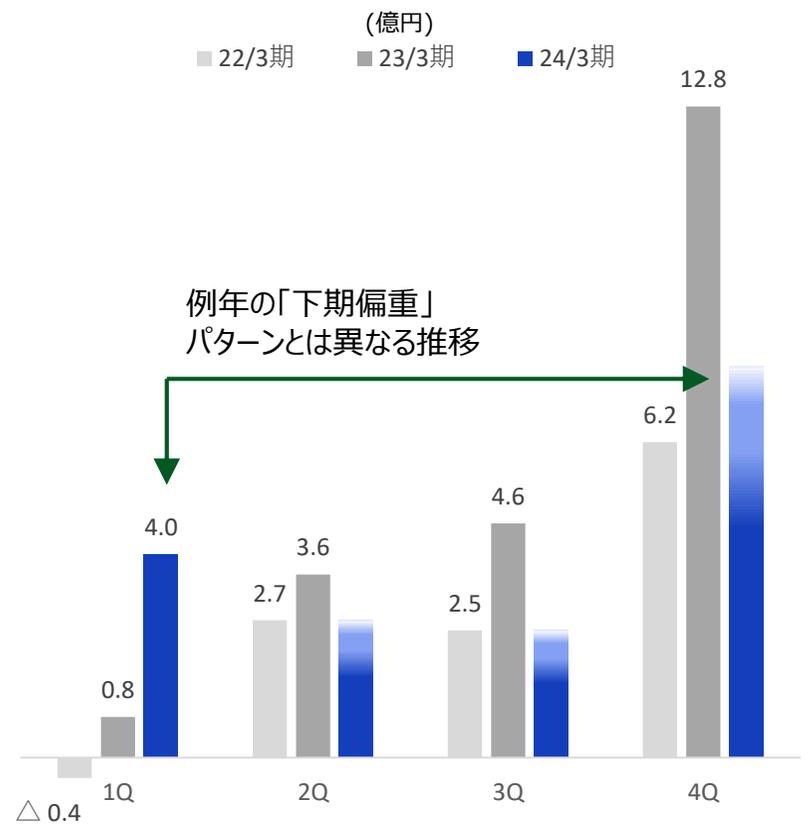


- 1Q単独で売上、経常利益ともに過去最高を更新
- 医薬分野で前期に積み上げていた仕掛品の出荷集中などが好調の背景
- その結果、通期見通しへの進捗は例年以上のピッチとなり、例年の下期偏重パターンは緩和されるとの見通しを継続。ただし、顧客計画の変動リスクを織り込み、通期見通しは据置き

四半期業績の推移



2024/3期 四半期別経常利益想定





エグゼクティブサマリー②

- 1Qは押し並べてほぼ好調に推移と評価。ただし、今後は懸念材料も否めず、先行きには慎重な見方を想定
- 機材分野：医薬医療分野は好調も、1Qは電子材料の在庫調整継続が重荷に。開発案件は堅調見通し
- 医薬分野：1Qは量産品中心に好調持続。開発ステージは顧客側開発計画の一部に遅延リスクを懸念
- バイオ分野：量産・開発ステージは堅調に推移し、見通しも対前年同期比で同程度

業況マトリックス

(1Q実績)				(2Q~4Qの見通し)			
	機材	医薬	バイオ	機材	医薬	バイオ	
量産	電子材料 在庫調整 医薬医療分野 好調継続	 定常品 出荷好調	 堅調に推移	電子材料 在庫調整 医薬医療分野 需要好調を継続	 リピート品中心に 売上堅調	 需要堅調を継続	
開発	 堅調に推移	 大型開発品 出荷	 堅調に推移	 需要堅調を継続	 顧客側開発計画 に遅延懸念	 需要堅調を継続	
研究	 堅調に推移			 需要堅調を継続			



2024年3月期1Q決算概要



2024/3期1Q 経営成績

- 売上は第1四半期として過去最高を更新。EBITDAは1Qながらも35%を達成
- 機材は医薬医療関連が好調継続もディスプレイ・半導体関連が顧客側の在庫調整で減収。医薬は仕掛品として積み上がっていた量産/開発製品が順調に出荷。バイオも好調を維持
- 懸念していた原材料費高騰の影響は、1Qでは大きく発現せず

経営成績の推移

(百万円)	2022/3期	2023/3期		2024/3期		2024/3期 進捗率	1Q前年比較	
		1Q	通期	1Q	通期見通し		差異	変化率
売上高	7,440	1,222	8,628	1,779	8,960	19.9%	+556	+45.6%
機能材料分野	2,858	712	2,832	610	2,510	24.3%	△101	△14.3%
医薬分野	3,286	284	4,259	923	4,850	19.0%	+639	3.2倍
バイオ分野	1,295	224	1,536	244	1,600	15.3%	+19	+8.7%
営業利益	1,094	79	2,163	404	1,700	—	+325	5.1倍
経常利益	1,102	81	2,199	408	1,700	—	+326	5.0倍
経常利益率	14.8%	6.6%	25.5%	22.9%	19.0%	—	—	+16.3pp
当期純利益	643	51	1,542	286	1,180	—	+234	5.6倍
EBITDA*	2,023	293	3,082	621	2,657	23.4%	+327	2.1倍
EBITDAマージン*	27.2%	24.0%	35.7%	34.9%	29.7%	—	—	+10.9pp

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費で算出



四半期別経営成績

- 2024/3期1Qは医薬分野が収益好調を牽引。経常利益率2割超
- 医薬分野は例年前4Qに出荷が集中する反動が発生するも、今期は高水準の出荷が継続。ただし、これは出荷タイミングの分散によるものと分析

四半期別経営成績の推移

(百万円)	2022/3期				2023/3期				2024/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	975	1,866	1,556	3,041	1,222	1,503	2,037	3,864	1,779
機能材料	468	717	718	954	712	603	832	682	610
医薬	228	804	588	1,665	284	553	886	2,533	923
バイオ	278	344	250	421	224	346	317	647	244
営業利益	△46	269	250	621	79	342	459	1,282	404
経常利益	△45	273	252	623	81	363	466	1,287	408
経常利益率	△4.7%	14.6%	16.2%	20.5%	6.6%	24.2%	22.9%	33.3%	22.9%
当期純利益	△104	189	168	389	51	256	320	914	286
EBITDA*	168	488	493	872	293	562	695	1,532	621
EBITDA マージン	17.3%	26.2%	31.7%	28.7%	24.0%	37.4%	34.1%	39.7%	34.9%

* EBITDA=営業利益+減価償却費で算出

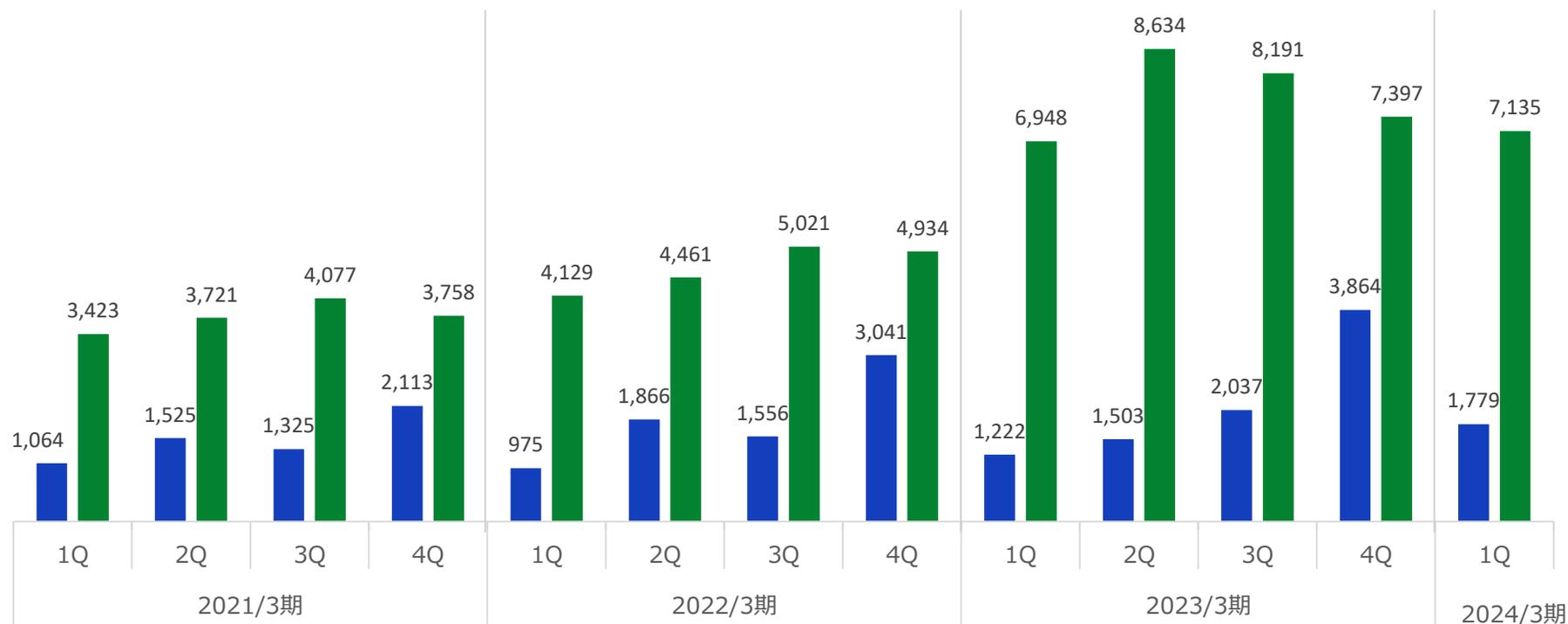


四半期受注残と売上の推移

- 1Qの受注高は15億円、受注残は71億円。受注残は引続き高い水準にあり、業績面での確実性に揺らぎはないと認識
- 機動的な生産能力拡大の重要性は一段と増す

売上および受注残の推移

(百万円) ■ 売上高 ■ 受注残



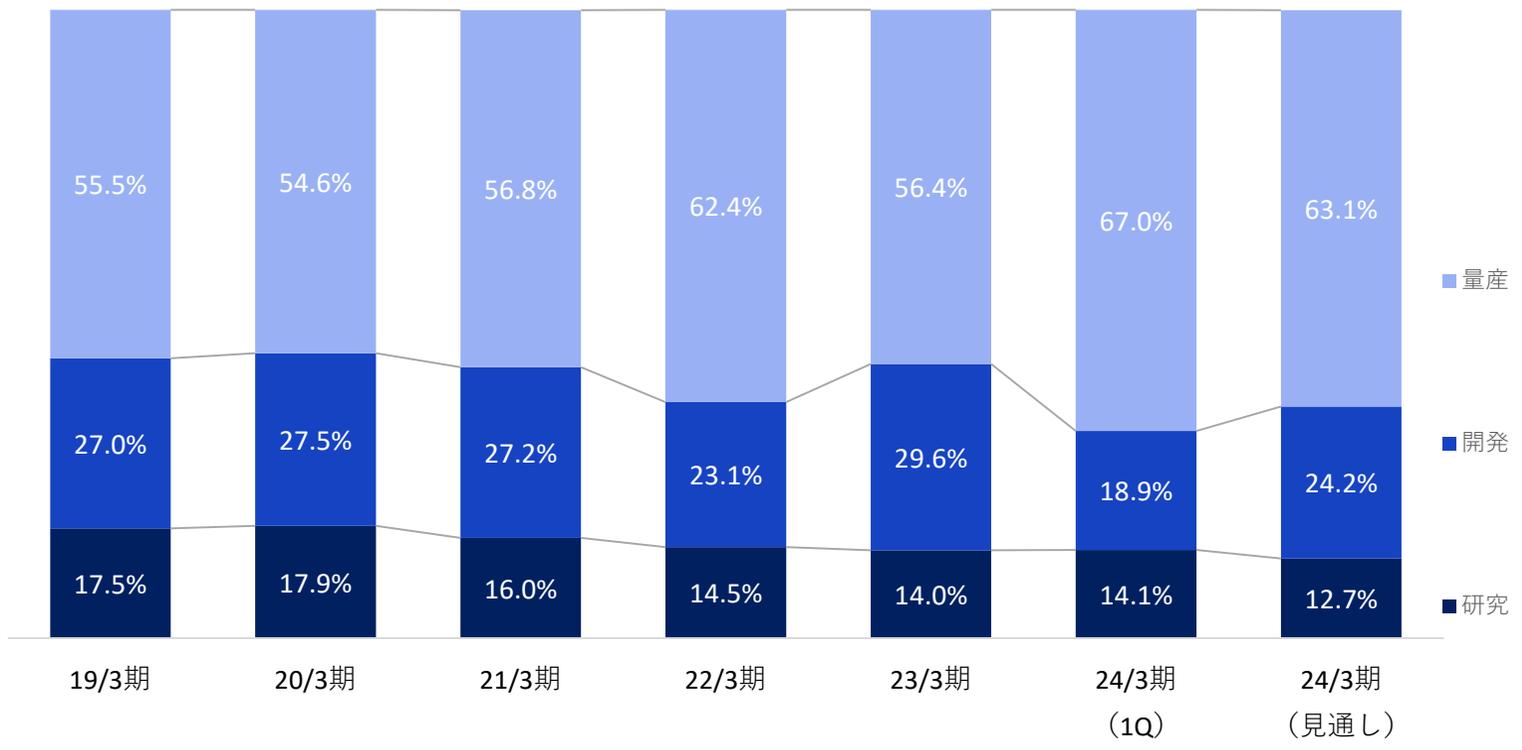
※顧客から提示されたフォーキャスト等は含まず



ステージ別売上状況

- 1Qは量産ステージの売上が伸長。医薬・バイオが好調に推移し、1Qの途中時点ながら、その売上構成比は10pp上昇
- 通期売上のステージ別構成比見通しは変更せず。今後は開発ステージの売上が比較的集中

ステージ別売上比率



*24/3期の見通しは23/3期に開発ステージとしていた製品が量産ステージにステージアップしたため、「2023年3月期 決算補足説明資料 P13 2-2. ステージ別売上見込」で想定していたステージ別割合から変更



経常利益 増減要因分析

- 大幅経常増益の主因は増収効果。販売好調や一部製品における価格引上げの進捗に加え、前期の下期偏重パターンに起因するテクニカルな要因も影響したと分析
- 原材料・エネルギーコスト高騰による影響は現時点では限定的

2023/3期 1Q 対 2024/3期 1Q 経常利益増減要因分析





24/3期1Q 財政状態

- 2023/3期4Qに急増した売上債権の回収が進捗。借入金/未払金を圧縮し、総資産は12億円縮小
- 棚卸資産は前4Qの売上増の影響あるも、さらに増加要因。2Q以降出荷予定の仕掛品を積上げ
- 2024/3期1Qの自己資本比率は84.2%（前期末比8ppアップ）と財務基盤はさらに盤石

財政状態の推移

(百万円)	2022/3期	2023/3期	2024/3期 1Q	前期末差異
流動資産	6,347	7,459	6,269	△1,189
現預金	1,973	2,297	2,102	△195
売上債権	2,519	2,792	1,309	△1,482
棚卸資産	1,771	2,279	2,715	+436
固定資産	7,604	7,945	7,876	△68
総資産	13,951	15,404	14,145	△1,258
負債	3,376	3,659	2,232	△1,427
有利子負債	1,676	1,536	926	△609
未払金/未払税	827	1,059	444	△614
純資産	10,575	11,745	11,913	168
負債純資産合計	13,951	15,404	14,145	△1,258

前期末急増の売上債権を回収

製品：△1.0億円
仕掛品：+5.3億円

設備投資額：3.8億円
減価償却費：2.1億円

売上債権回収により、圧縮

自己資本比率：84.2%



設備投資動向

- 2024/3期投資計画額は30億円さらに翌2025/3期は40億円を想定し今後2期で70億円の設備投資を計画。これは過去（76億円/6期）との比較でかなりの急ピッチ
- 需要の引き合いは強く、機会損失回避に向け積極的に対応
- 新棟の2つは2026/3期上期の稼働を目指す

設備投資の推移（CFベース）

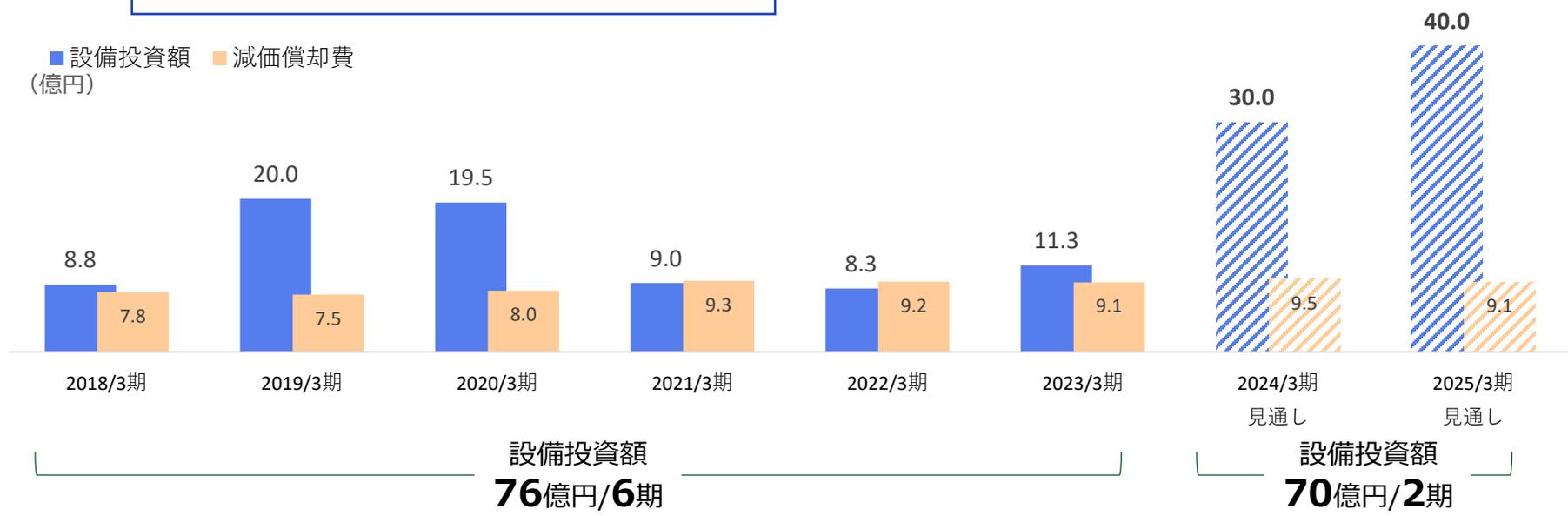
バイオリサーチセンター 新棟建設（バイオ）

- ✓ 建設費30億円規模
- ✓ 原薬製造専用の設備として生産能力拡大
- ✓ 特定顧客専用工場。減価償却費は顧客が負担

出雲第二工場 新規製造設備（機材）

- ✓ 建設費20億円規模
- ✓ 電子材料にて高い金属不純物管理を実現

■ 設備投資額 ■ 減価償却費
(億円)





< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先 経営企画部 IR担当 078-955-9900 (代表) knc-ir@kncweb.co.jp